

Ⅶ 研究会等

1. 2006 年度

1-1 応用物理学会（九州支部）との合同シンポジウム

2006 年 9 月 12 日に、応用物理学会九州支部との共催により、「SAGA シンクロトロンとアカデミア九州における学術・産学共同利用を目指して」をテーマとしたシンポジウムを開催した。79 人の参加があり、研究センターの将来計画や施設整備への期待のほか、シンクロトロン光の学術・産学共同利用の重要性やその利用推進策について熱心に議論された。

1-2 九州シンクロトロン光研究センター平成 18 年度研究成果報告会

研究センターの開所 1 周年記念と現状報告を兼ねて 2007 年 3 月 19 日に第 1 回目の研究成果報告会を「サンメッセ鳥栖」で開催した。

当研究センターの上坪所長の挨拶の後、招待講演として、株式会社日立製作所フェローの外村様に電子線でどんな新しい世界が開けてきたのかを先端科学技術の進展と照らし合わせて、わかりやすくご説明いただいた。また、口頭発表として、大学、公設試験研究機関、企業の研究者の方から 4 件の報告と、ポスター発表でも 23 件の報告が行われた。

初めての研究報告会であったが、当日は約 113 人の参加があり、研究センターにおいて具体的な研究活動がスタートしている実態をご理解いただくことができ、有意義な報告会となった。

1-3 テーマ別研究会

利用推進協議会のテーマ別研究会において、それぞれの自主的な活動として、様々なセミナー等が企画、実施された。その概要は、表 1 のとおりである。

なお、こうした研究会活動に係る経費については、

当センターが目指す企業ユーザー拡大に資するものとして、財政支援を行っている。

表 1 テーマ別研究会の活動状況（2006）

研究会名	開催時期	内 容
表面・界面ダイナミクス	2006.5	シンクロトロン光装置国際会議での発表
微細加工	2006.8.3	LIGA 微細加工の有効性の基礎的検証
新素材開発	2006.9.13	SAGA-LS における産学官連携の講演
構造科学ビームライン、バイオメディカルサイエンス、マイクロビーム	2006.10.31	第 1 回アジアシンクロトロン光生物医学画像計測研究会
量子ビーム科学	2006.11.17	放射光施設加速器懇談
分析・解析技術開発	2007.2	生体材料の分析・評価の将来像を討議
FEL	2007.2.28	国内外における EUV 研究の現状
生体分子構造	2007.3.16	X 線結晶解析基礎講演

1-4 その他

佐賀県と九州地区の大学、経済団体等とのジョイントによるシンポジウムにおいて、佐賀県の施策紹介として研究センターの事業説明を行った。

・全九州半導体技術国際フォーラム

時期：2006.11.1～2

主催：九州半導体イノベーション協議会他

場所：サンメッセ鳥栖（鳥栖市）

2. 2007 年度

2-1 SAGA-LS ナノテクセミナー

2007 年度から 5 年間の予定で「文部科学省先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジーネットワークプログラム」を受託し、産学官の推進に資するためにシンクロトロン放射光を用いたナノ計測・分析支援を開始した。その一環として 2007 年 12 月 17 日に本セミナーを研究センターで開催した。ナノテクノロジー研究と応用展開に携わられている 5 名の研究者の方々から発表をいただき、参加された 26 人の研究者・技術者との間で、活発な討論が行われた。

2-2 九州シンクロトロン光研究センター／早稲田大学ナノ理工学研究機構合同シンポジウム

2006 年度に佐賀県と早稲田大学が「協働連携に関する基本協定」を締結したことを踏まえ、研究センターと早稲田大学理工学研究機構は、2008 年 3 月 11 日～12 日に、早稲田大学において、シンクロトロン放射光とナノテクノロジーと題して、ジョイントシンポジウムを開催した。

シンポジウムには、177 人の参加があり、ナノテクノロジーを共通の基盤として産官学の研究者・技術者との討論を通して、一層の技術の進展や人的交流を図ることができた。

2-3 テーマ別研究会

利用推進協議会のテーマ別研究会において、それぞれの自主的な活動として、各研究会でも活発に活動がなされた。その状況については、表 2 のとおりである。

表 2 テーマ別研究会の活動状況 (2007)

研究会名	開催時期	内 容
エレクトロニクス	2007.11.16	小角 X 線散乱を用いたシカゲル・ナノ構造形成過程のその場観察講演
新素材開発	2007.11.16	ヘルシキ工科大学教授等との意見交換
分析・解析技術開発	2008.1.25	X 線分析研究懇談会例会開催支援・協力

生体分子構造	2007.9.7	タンパク質構造解析の現状講演
FEL	2008.1.23	佐賀大学電気電子工学科専攻の将来構想とシンクロトロン光応用研究との連携に関する懇談会

2-4 その他

研究センターも分担機関と位置づけられている、九州地区ナノテクノロジーネットワークの主催事業など、九州地区の大学、経済団体、他の放射光施設等とのジョイントによるシンポジウム等において、技術講演や事業紹介などを行った。

- (1) 第 1 回ナノテク産業化基盤技術の有効活用を目指した研究会

時期：2007.9.26

主催：九州大学九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワーク福岡ナノテク推進会議

場所：九州大学伊都キャンパス（福岡市）

- (2) 第 1 回九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワークセミナー講習会

時期：2007.9.26

主催：九州大学九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワーク福岡ナノテク推進会議

場所：九州大学伊都キャンパス（福岡市）

- (3) 文部科学省ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト事業説明会

時期：2008.2.13～14

主催：文部科学省ナノテクノロジーネットワークプロジェクト

場所：東京ビッグサイト(東京都)

- (4) NSRRC との合同セミナー

時期：2008.2.18～20

主催：National Synchrotron Radiation Research Center (NSRRC)、九州シンクロトロン光研究センター

場所：NSRRC (台湾)